

販売名・一般名称



| 販売名 | 一般名称 | 承認・認証・届出番号 |
|------------|----------|-------------------------------------|
| セラマージュ アップ | 歯冠用硬質レジン | 管理医療機器 医療機器認証番号 227AFBZX00106000 |

包装

セラマージュ アップ 5g(3.3mL)

【色調】26色

| | |
|-----------|--|
| サービカル | 1色 AC1 |
| オペクデンティン | 4色 ODA1、ODA2、ODA3、ODrootA |
| ボディ | 4色 A1B、A2B、A3B、rootAB |
| インサイザル | 4色 S6、S7、S8、S9 |
| トランスルーセント | 2色 T-Glass、GUM-T |
| コンセントレイト | 11色 W、GUM-V、GUM-Br、GUM-L、GUM-D、GUM-Or、GUM-DP、GUM-LP、GUM-P、GUM-SP |



セラマージュ アップ ウィング

セラマージュ アップ チップ

関連製品



CAD/CAM用ガラスファイバー強化型レジンディスク
トリニア
色調 1色 アイボリー
φ98mm×15mm
φ98mm×25mm



歯科セラミックス用接着材料
セラレジンボンド
セット
ボンド1 6mL
ボンド2 5mL



金属接着性プライマー
メタルリンク
5mL



アルミナ・シリコニア接着性プライマー
AZプライマー
5mL



レジン系材料用色調調整材
ライトアート
フルセット(全15色)
カラーペースト 1mL
クリアキッド 6mL



レジン用表面滑沢材
レジングレース ジェルセット
セット



レジン用表面滑沢材
レジングレース リキッド
6mL



ナイロン筆
ユニブラシ オーバルタイプ
1セット
Lタイプ:柄1本、筆先10本(Lタイプ筆先)
Sタイプ:柄1本、筆先10本(Sタイプ筆先)



ナイロン筆
ユニブラシ No.5
1セット
柄1本、筆先10本



歯科技工用光重合器 (光源:ハロゲンランプ)
松風サブライト V 一式



歯科技工用光重合器 (光源:ハロゲンランプ)
ソリディアイト V 一式



歯科技工用光重合器 (光源:メタルハライドランプ)
アクセルキュア
一式

ご使用の際は添付文書などをよく読んでお使いください。

取扱い店



ハイブリッド型硬質レジン フローアブルペースト
セラマージュ アップ



Reimport from Europe

CASE 使用例

1 セラマージュアップで築盛



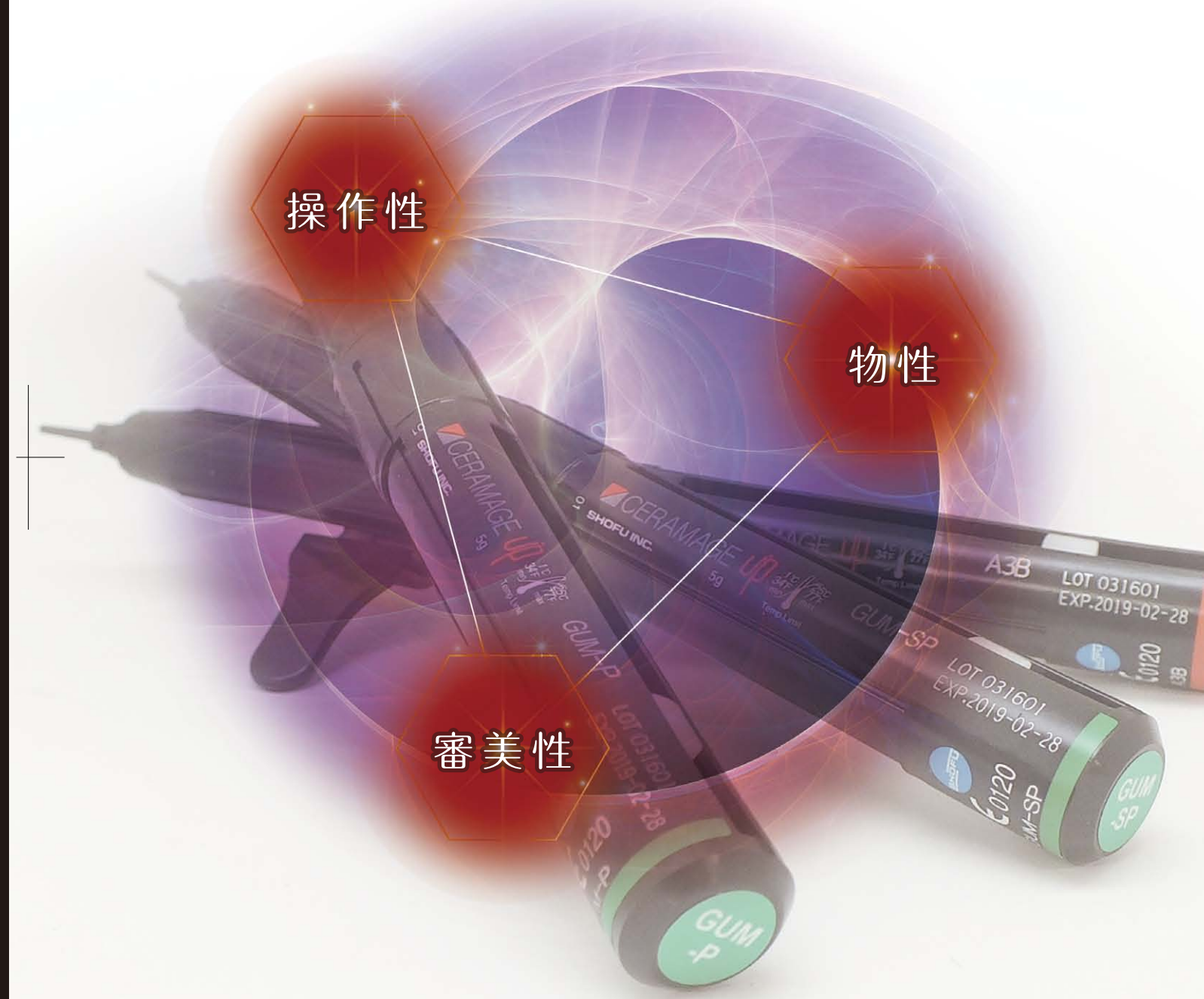
写真提供：多保 学 先生(TABO DENTAL CLINIC)
旗手 勝浩 先生(ippin dental laboratory)

CAD/CAM 用グラスファイバー強化型レジンディスク「トリニア」をフレーム材に使用し、セラマージュ、セラマージュアップを用いて築盛した上顎フルアーチのインプラント上部構造体



写真提供：関 錦二郎先生(有限会社 関錦二郎商店)

セラマージュ アップはフローアブルペーストのハイブリッド型硬質レジンです。
高い機械的強度を有しているため、弊社従来品セラマージュと同じ用途に使用することができます。
歯冠色に加え、歯肉色を豊富にラインナップしているため、
近年増加しているインプラント上部構造体の歯肉部の再現に最適です。
ヨーロッパで先行発売しており、特にドイツ歯科技工士マイスターからご好評いただいています。



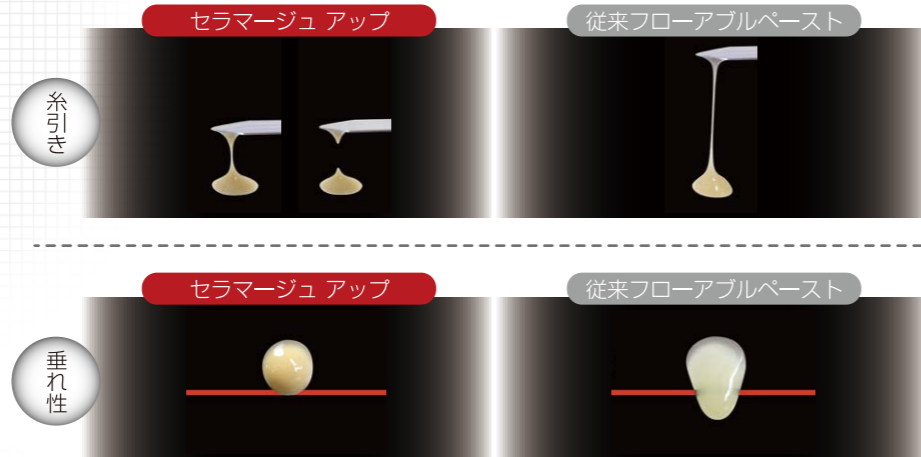
PFSフィラーおよびHDウェビーモノマーの技術を融合し、
操作性・物性・審美性の並立を実現

Light-curing Crown & Bridge, Inlay and Veneer Composite CERAMAGE UP

操作性

陶材築盛のような操作感

糸引きが少なく、垂れにくいペースト性状のため、陶材築盛のような感覚で操作することが可能です。



※同じ質量のコンポジットレジンガラス板に採取し、1分間垂直に立てた状態
※従来フローアブルレジン:セラマージュ フローアブルコンポジットレジン

独自形状の新規シリンジを採用

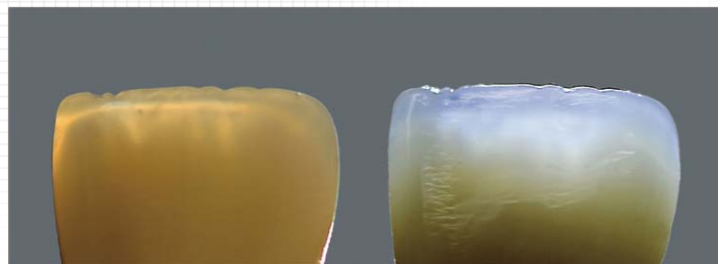
インスツルメントや、筆で間接的に築盛するだけでなく、シリンジを用いて直接築盛することも可能です。



審美性

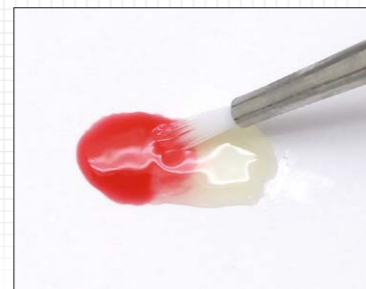
セラマージュの審美特性を継承

セラマージュの色調・透明性・オパール効果を継承しています。また、天然歯に近似した光透過性を有しているため自然観あふれる色調を再現できます。



混色が可能

セラマージュ アップは異なる色調を混合することで、幅広い色調再現が可能です。



※ペーストを混ぜて使用する場合は、気泡が混入しないように注意して混合します。
※セラマージュと混ぜて使用することはできません。

物性

耐摩耗性、耐着色性の向上

PFSフィラーおよびHDウェビーモノマーの独自技術の融合により、従来のフローアブルペーストよりも耐摩耗性、耐着色性にすぐれています。レギュラーペーストのセラマージュと同等レベルの物性を有しています。

| 製品名 | 曲げ強度 ¹⁾ (MPa) | 曲げ弾性率 ¹⁾ (GPa) | 衝突回転摩耗 ²⁾ 自己摩耗量 (μm) | 衝突回転摩耗 ²⁾ 対合歯(エナメル) 摩耗量 (μm) | ビッカース硬度 ¹⁾ (HV0.2) | 耐着色性 ³⁾ (ΔE) |
|--------------|-----------------------------|------------------------------|--|---|----------------------------------|--------------------------------------|
| セラマージュ アップ | 140 | 6.4 | 13.0 | 1.3 | 40 | 6.0 |
| 従来フローアブルペースト | 132 | 6.0 | 70.2 | 2.5 | 40 | 9.3 |
| セラマージュ | 146 | 10.7 | 41.4 | 3.2 | 74 | 9.3 |

試験方法: 1) JIS T 6517, ISO10477, 2) アラハマ試験方式, 3) 自社試験

PFSフィラー

セラマージュの「操作性」「物性」「審美性」の並立を実現した、弊社独自開発の特殊構造無機フィラーをセラマージュ アップにも採用しています。

HDウェビーモノマー

レジンマトリックス全体の反応性が高まり、分子レベルでの結合がより密になりました。

カラーテーブル

セラマージュのすぐれた色調を継承しています。また、ガム色のラインナップが充実しており、歯肉部の色調再現が容易に行えます。

| CERAMAGE UP | | | | | | | | | | |
|-------------|-------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|-------|--|
| AC1 | ODA1 | ODA2 | ODA3 | ODrootA | A1B | A2B | A3B | rootAB | | |
| 56 | 57 | 58 | 59 | T-Glass | GUM-T | W | | | | |
| GUM-L | GUM-D | GUM-Or | GUM-LP | GUM-P | GUM-DP | GUM-SP | GUM-Br | GUM-V | GUM-R | |

印刷物のため実物とは色調が異なる場合があります。

マテリアルの選択

セラマージュ アップ、セラマージュは各マテリアルに応じたプライマーを使用することでフレーム材等を選ばずに築盛することが可能です。



ライトアートで 更にリアルなキャラクタライズ

ライトアートは内部ステイン法で使用する色調調整材です。汎用性の高い12色に加え、インクジェットプリンター等でも使用されている色料の三原色である「シアン」「マゼンタ」「イエロー」をラインナップしており、オリジナル色のカスタマイズも容易に行えます。

★シアン、マゼンタ、イエロー + ホワイト、ブラックで
色調再現の幅が無限大に広がります。



ガム色築盛ステップ《歯肉色》

1 フレームの前処理



あらかじめ、歯冠概形の形態修正までを終え、歯肉色築盛部の前処理を終えた状態です。

4 辺縁歯肉の下地築盛



付着歯肉の下地の色調を再現します。明るく発色性のある色調を選択します。また、必要に応じて複数の色調を選択して色調表現を行います。築盛後、光重合(予備重合)を1分間行います。

2 血管色の再現



歯肉部の可動粘膜に見られる血管色を再現します。築盛後、光重合(予備重合)を1分間行います。

5 キャラクタライズ



骨隆起を再現します。骨隆起は歯冠色(ボディー、オパークデンティン)などを用いて築盛します。また、骨隆起の築盛後、必要に応じてその表層をGUM-Rなどで調整します。築盛後、光重合(予備重合)を1分間行います。

3 辺縁歯肉の下地築盛



歯間乳頭の内部に見られる健康的で明るい色調を再現します。築盛後、光重合(予備重合)を1分間行います。

6 歯肉上皮の築盛



歯肉部全体の上皮を再現します。上皮はガムトランスまたはインサイザルを用いて築盛します。この際、下地色と表面キャラクタライズの発色が減少するので、厚み、色調選択に注意し、歯肉の最終形状をイメージしながら形態を付与します。